

2月7日：旧正月明け最初の取引でVN指数は一時1,500ポイントの大台にのせる

旧正月の連休明け最初の取引は、投資家のリスク選好の動きが強まったことで、VN指数は上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は一時1,500ポイントの大台にのせ、最終的に1.26%（18.7ポイント）高の1,497.66ポイントで取引を終えた。

騰落別では382銘柄が上昇、91銘柄が下落した。しかし連休前の最終取引日と比べて出来高は減少した。売買高は5億7,820万株、売買代金は18兆ドン（7億9,650万米ドル）を超えた。

強気な投資マインドを背景に複数のセクターの大型株が買われ、VN指数の上昇の追い風となった。

VN30指数の採用銘柄のうち、23銘柄が上昇、そのうち1銘柄が7%のストップ高を付けた。5銘柄が下落し、2銘柄が変わらずだった。

ベトコムバンク（VCB）は3.82%高と値上がり寄与度でトップとなった。ペトロベトナムガス（GAS）+5.23%、ビンホームズ（VHM）+2.37%、マッサングループ（MSN）+3.43%、ベトジェットエア（VJC）+6.97%はそれに続いた。

ベトナムゴム工業グループ（GVR）+3.21%、ホアファットグループ（HPG）+2.01%、ペトロリメックス（PLX）+4.63%も堅調な値動きとなり、指数の上昇を支えた。

しかし不動産、銀行セクターの複数の大型株は引き続き投資家の利益確定売りを受けた。ビンググループ（VIC）は-5.98%と値下がり率でトップとなった。ベトナム投資開発銀行（BID）-1.15%、ヴィエティンバンク（CTG）-1.63%とそれに続いた。

ハノイ市場のHNX指数も0.62%（2.6ポイント）高の419.22ポイントで取引を終えた。

売買高は5,490万株、売買代金は1兆5,000億ドンとなった。

マーケットの上昇は旧正月の連休明け最初の取引に上昇する可能性があるとしたアナリストの予想と合致している。

外国人投資家は引き続きマーケットで買い越した。買い越し額は両市場で合わせて3,325億7,000万ドンとなった。そのうちホーチミン市場で3,045億4,000万ドンを、ハノイ市場で280億3,000万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。